

けんぽっく

令和5年6月号



けんぽっく
 県北地域福祉サービスセンターの運営につきまして、日頃格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、新年度がスタートし2か月が経過しましたが、宮城県援護寮では、4月に塩竈神社への花見外出を実施しました。利用者の皆様、日々の自立訓練の中で企画・実施する外出行事ですが、これからは季節感を取り入れた行事を実施していきたくと考えております。

当センターでは、4月の人事異動に伴い担当する職員が一部変更となりました。令和5年度も利用される方のニーズに応じたサービスを適切に提供できるよう、職員一丸となり取り組んでまいりますのでご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、令和4年度までは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、外出など一部の行動制限がありました。5月8日に感染症法上の位置づけが2類相当から5類感染症に移行しましたが、いまだ終息が見えない状況です。当センターといたしましては、皆様が安心して利用できるよう、今後も感染症対策には万全を期してまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

センター長 櫻井幸久

Link(リンク)より

障害者就業・生活支援センターLinkでは、障害者雇用促進法に基づいて障害をお持ちの方の就職に関する相談、仕事や生活全般についての支援を行っています。

仕事に就いている方々の交流の場として在職者交流会を開催しています。令和5年度の在職者交流会は、平日休みの登録者の方でも参加しやすいように、平日開催も企画しています。交流会では仕事の悩みや休みの日の過ごし方など、お互いに話をする中で共通の悩みに気付いたり交友関係を築いたりすることができます。6月後半には第一回在職者交流会を開催予定で準備を進めていますので、その様子は次回のけんぽっくで報告予定です。

5月8日より新型コロナウイルス感染症が5類感染症になりましたが、Linkでは感染症対策を継続していきます。来所の際は引き続きマスクの着用・手指消毒・検温の実施等にご協力お願いいたします。

在職者交流会のお知らせ

職場の悩みや生活の悩み、休みの日の過ごし方など、お互いに話をする中で共通の悩みに気付いたり交友関係を築いたりすることができます。6月後半には第一回在職者交流会を開催予定で準備を進めていますので、その様子は次回のけんぽっくで報告予定です。

交流会では仕事の悩みや休みの日の過ごし方など、お互いに話をする中で共通の悩みに気付いたり交友関係を築いたりすることができます。

交流会の開催日時：令和5年6月15日(火) 10:00~12:00

交流会の開催場所：宮城県大崎市古川旭5丁目7-21 宮城県援護寮

交流会の参加費：無料

交流会の申し込み：お問い合わせください

交流会の問い合わせ先：0229-23-1513

BOWLING

交流会では、 bowling などのレクリエーションも実施予定です。

マスクの着用

ご利用の方には、マスクの着用をお願いいたします。

今後のご利用には

- 1 マスク着用
- 2 検温
- 3 手指消毒

のご協力をお願いします。

お問い合わせ先：0229-23-1513

さくら事業所より

令和5年度も2か月を過ぎようとしています。ホームの状況は、3月末援護寮から新たな方が入居しB型事業所に通いながらホームでの生活をスタートしています。

ゴールデンウィークは、仕事がばっちり入った方やカレンダーどおりお休みの方等それぞれ充実した連休を過ごしたようでした。田植えのお手伝いに帰省された方もいました。

先日5月16日(火)アビリティーズジャスコ様で研修会があり3人の利用者の方が受講してきました。内容は「働くための認知行動療法」～働くためのコミュニケーション編～受講した方から「コミュニケーションが上達する方法を学び、適度な距離感が必要なこと、何かあったら相談することが大事だということに改めて気づかされた。」という感想が聞かれました。今後の自分の夢に向かって一つの学びとなったようです。これからもいろんな研修などをご案内していきたいと考えています。



月1回の各ホームのミーティング 就労相談の様子

宮城県援護寮 〒989-6117 宮城県大崎市古川旭5丁目7-21
TEL: 0229-23-1513 / FAX: 0229-23-1562

- 宮城県指定管理5期目
 - ①宿泊型自立訓練・自立訓練(生活訓練)【定員20名】
 - ②短期入所(ショートステイ)【定員1日2名】
 - 令和5年度 事業計画
 - 【重点項目】「デジタルイノベーション(デジタル化を取り入れた業務効率化)による支援環境の充実」
- <事業所におけるなんでも相談・苦情解決窓口>
 責任者 所長 櫻井幸久
 担当者 係長 佐藤寛崇
 第三者委員 新井弘美氏

地域支援センター 〒989-6117 宮城県大崎市古川旭4丁目3-7
TEL: 0229-21-7466

- 令和5年度 事業計画
 - 【重点項目】「就職率の向上」
- <事業所におけるなんでも相談・苦情解決窓口>
 責任者 所長 櫻井幸久
 担当者 主幹 森山和子
 第三者委員 新井弘美氏

お花見外出

4月に社会体験、リフレッシュを目的として塩竈神社でお花見を行っています。新型コロナウイルスの感染対策が緩和されましたが、援護寮では密を避けるため今年も2班に分かれて外出しました。

外出先や昼食場所は利用者の皆様で話し合っ
て決めています。素晴らしい思い出になるよう
皆さん真剣に話し合っています。



外出先を決めるための真剣な話し合い

第1班 4/6

天気も良く絶好のお花見日よりとなりました。今年は例年よりも早く桜も開花していますが、塩竈の桜はまさに見頃！満喫されたお花見でした。



第2班 4/13

昼食をまぐろ専門店「がお」様で済ませたのち、塩竈神社で花見をしました。お守りを購入したり、ラムネを飲んだり、思い思いに楽しんでいます。



コロナウイルス対策

新型コロナウイルス感染症対策
毎日の検温・健康チェックや定時の施設内消毒を実施しています。また、職員に対し、コロナ陽性者が発生した際の対策として、ガウンテクニック・ソーニング指導を行っています。



防災訓練

災害発生時の応急対策に関する確認と利用者様の防災意識の向上を目的として5月17日に夜間を想定した防災訓練を実施しました。夜間想定のため職員が少ない中、実際に古川消防署へ連絡するなど手順の確認を行いました。



日中活動

地域生活に必要な技能や知識を身に付けるため、自立訓練（生活訓練）として様々な日中活動に取り組んでいます。今回はディスカッション、カラオケ、寮外活動についてご紹介します。

ディスカッション

行事や共同調理、外出などは全員で話し合っ
て内容を決めています。
自らの思いを伝えたり他者の話を聞き協力し
て意見をまとめることも大切な訓練です。



カラオケ

感染症対策を行いながら、日々の楽しみのひとつとしてカラオケの時間を設けています。「歌う」という自己表現の仕方の練習にもなります。

寮外活動

植物、土に触れ季節の移ろいを感じながら環境整備をしたり野菜を育てたりしています。育てた野菜は行事や普段の食事でもいただきます。



余暇活動

余暇の時間に希望者を募ってお昼ごはんづくり（E' S kitchen）やゴールデンウィーク中にスイーツ作りを行っています。



E' S kitchen



スイーツ作り

寮内のご紹介



○厨房
利用者の皆さんがお昼ご飯を自炊したり、食事当番で朝・夕食を作っています。

ホームページで短期入所の空き状況や短期入所利用までの流れを掲載しております。また、『県北ブログ』を随時更新しております。ぜひご覧ください！

☞ <https://fukushi.miyagi-sfk.net/kenp/>

